

所在不明となっている 172 件の内訳

①所有者別（国指定文化財指定書上の所有者の形態）

- ・個人所有：127 件（盗難 3 件）
- ・社寺所有：39 件（盗難 25 件）
- ・財団・企業所有：5 件（盗難 1 件）
- ・地方自治体所有：1 件（盗難）

②文化財種別

- ・絵画：15 件（盗難 6 件）
- ・彫刻：17 件（盗難 14 件）
- ・工芸品：89 件（盗難 5 件）《うち刀剣 78 件（盗難 5 件）》
- ・書跡・典籍：37 件（盗難 1 件）
- ・古文書：11 件（盗難 3 件）
- ・考古資料：3 件（盗難 1 件）

③理由別

- ・所有者転居：69 件
- ・所有者死去：38 件
- ・法人解散：2 件
- ・盗難：30 件
- ・売却：9 件
- ・その他：24 件（※）

（※）所在不明になった時期が古く、経緯がわからないもの等

④指定時期別

- ・文化財保護法制定（昭和 25 年）以前：115 件
- ・文化財保護法制定（昭和 25 年）以後：57 件（最も新しいものは昭和 57 年）

《備考》

下記 3 件については一部が盗難されているが、所有者や物件自体の存在が確認できていることから、「所在が確認できたもの」に分類している。

①【重要文化財・彫刻】十二神将立像（和歌山県）

⇒平成 6 年に 12 体のうち 6 体盗難

②【重要文化財・彫刻】二十八部衆立像（滋賀県）

⇒昭和 56 年に 28 体のうち 3 体盗難，うち 1 体はその後発見

③【重要文化財・書跡・典籍】高麗版大般若経（長崎県）

⇒平成 6 年に 591 帖のうち 493 帖盗難